

地域振興・
観光振興
への貢献

つくる、つなぐ、未来へ

技術継承・
人材育成の
取り組みを
実施して
います

技術で支える インフラ整備 開発建設部の魅力



✦ 美ら島の未来を拓く社会資本整備の ✦
✦ プロフェッショナル ✦



首里城正殿復元工事の状況



火災後の首里城(令和元年11月1日時点)



復元工事中の首里城(令和8年2月9日時点)

首里城は令和元年10月31日未明に発生した火災により、正殿等9つの施設が焼失しました。政府が決定した「首里城復元に向けた基本的な方針」に基づき、開発建設部では地元関係者や関係機関、有識者の方々とともに、首里城復元の取組を進めています。首里城復元に向けた3本柱として、正殿を皮切りに技術的な検討を行い、復元

工事を実施する「首里城復元」、復元工事の過程を一般公開・情報発信する「段階的公開」、それらの実施を通じた「地域振興・観光振興への貢献」を推進しています。

首里城復元では、令和元年の焼失前の復元を「平成の復元」、今回の復元を「令和の復元」と呼んでいます。令和の復元では、平成の復元以降に確認された古文書や古写真の詳細な分析により得られた情報を「新たな知見」とし、有識者の意見を聞きながら復元に反映するとともに、今般の火災を受けた防火対策の強化も図られています。

段階的公開では、「見える復興」をテーマに復元工事の過程を公開しています。完成後の姿だけでなく、復興へと進む「今しか見ることのできない首里城」を多くの皆さんに見ていただき、復元・復興の過程を多くの方と共有する取組です。地域振興・観光振興への貢献では、段階的公開とともに、復興ボランティアや復興イベント等を通して地域振興・観光振興につながる取組を展開しています。



首里城正殿復元工事 について

開発建設部 について

開発建設部においては、沖縄のインフラを整備・維持するという使命をもち、日々業務に取り組んでいます。

具体的には、国土交通省の地方整備局が所掌する事務を実施する組織として、沖縄における道路、ダム、港湾、空港、海岸、砂防、公園、官庁宮繕工事のうち、国が直轄で施行する社会資本整備に関する業務を幅広く担っています。

また、沖縄総合事務局、沖縄県、沖縄県立芸術大学、(二財)沖縄美ら島財団で連携協定を締結し、若手技術者の育成等、首里城で使用される様々な伝統技術に係る技術継承・人材育成の取組を実施しています。正殿復元でも多くの県内出身の若手技術者が活躍しています。

正殿の復元工事は、令和7年10月末に覆っていた素屋根が撤去され、6年ぶりに沖縄の空の下にその外観が姿を現しました。現在は新たに設置した見学デッキから、正殿の左右に設けられる「両廊下」の工事が進む様子を見ることが出来ます。今年11月23日の正殿の一般公開に向けて、内部の塗装工事、両廊下や正殿周辺の防火設備工事を進めるとともに、一日も早い首里城全体の復元を目指して、取組を進めていきます。

開発建設部職員の業務内容

私たちは自ら工事などを行うのではなく、「発注者」としてプロジェクト全体をマネジメントします。地形・地質の調査を専門業者へ発注し、最適かつ経済的な設計成果が得られるよう調整するほか、工事費用を算定して建設会社へ工事を発注し、施工が図面通りに行われているか、品質や工程を確認します。

現場などの課題に対して技術的な判断を下すことも、私たちの重要な役割です。

若手職員の声

一般職技術系 開発建設部 蔵元 里佐子

入局4年目を迎え、国の事業を支える業務に携わり、道路などの社会基盤の整備や維持を通じて地域の皆さまの安全で快適な暮らしを支える役割を担っています。これまでは、新たな道路整備に向けて関係機関と調整・検討を行う業務や、道路や横断歩道橋といった施設の維持管理・修繕に関わる業務に携わってきましたが、いずれも地域の将来や日々の安心に直結する重要な仕事であり、大きな責任とやりがいを感じながら取り組んできました。今年度は主に不発弾関連業務に従事しており、沖縄ならではの課題に向き合いながら地域の安全確保に貢献しています。このように多岐にわたる業務に関わる中で日々新しい発見と学びが



北部国道事務所勤務時のボーリングコア確認状況

一般職技術系 開発建設部 佐原 翔太

あり、自分自身の成長を実感できることがこの仕事の大きな魅力です。一方で責任の大きさに難しさを感じる場面もありますが、職場は相談しやすい雰囲気があるので、上司や同僚の助言を受けながら二人で抱え込むことなく業務に取り組めるため、安心して経験を積むことができています。入局当初は学生時代にこれまで学んできた分野とは異なる知識が求められることに不安を感じることもありましたが、専門的な内容から社会人として必要なスキルまで幅広く学べる研修制度があり、今後の業務に役立てることができ、自分の仕事ができることができました。自分の仕事が地元・沖縄の暮らしを支え、その未来につながっていると実感できることに大きなやりがいを感じており、これからも地域に貢献できる職員として成長し続けていきたいと考えています。

宮縄監督保全室の佐原です。宮縄工事の監督に関する業務、官庁施設の保全指導に関する業務を行っています。担当物件には首里城正殿復元工事の現場もあり、仕事を通し貴重な復元過程に携われることはこの職場ならではの魅力だと感じております。

一般職技術系 開発建設部 石川 隆一

技術管理課の石川です。技術管理課では積算基準の改定や公共工事における新技術の活用等の検討等を行っており、設計積算担当者会議の開催などを通じ、受発注者が適切な積算を行えるよう支援しています。業務を通じて沖縄のインフラ発展を支えられることに、日々やりがいを感じながら取り組んでいます。



積算担当者会議（4月14日実施）
設計積算担当者会議



お問い合わせ先 開発建設部 建設行政課 ☎098-866-1908